

平成30(2018)年度 小規模多機能ホーム 事業報告書

1. 施設の概要

(1) 介護保険法

- ・小規模多機能型居宅介護
 - ・介護予防小規模多機能型居宅介護
 - ・短期利用居宅介護事業
- (上記サービス 登録定員29名 通い18名 泊り9名)

2. 施設管理など

(1) 職員配置

平成31年3月現在

	基準数	現員
管理者	1	1
介護計画作成担当者	1	1
看護職員	1	1
介護職員	日中利用者3人 に対して1名配置	11

(2) 運営推進会議

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
参加者	5月9日	7月11日	9月12日	11月21日	1月16日	3月27日
利用者	0	0	0	0	0	0
利用者家族	1	1	1	2	1	1
介護保険課職員	0	0	0	0	0	0
地域包括支援センター職員	1	1	1	1	1	1
自治会長	0	1	1	1	1	0
民生委員	1	1	1	1	1	1
地域住民(知見を有する)	1	1	1	1	1	1
事業所職員	1	2	2	1	1	1

(3) 消防訓練

日付	訓練内容
平成30年5月19日	通報・消火・避難訓練(日中想定)
平成31年3月26日	通報・消火・避難訓練(日中想定)

3. 利用の状況

(1) 通いと泊り方の日課 (※訪問は随時)

7:00	起床、洗面、着替え
7:30頃	朝食、口腔ケア
8:30	通い迎え
9:00	健康チェック
9:30頃	入浴
10:00頃	レクリエーション、趣味活動
11:45	食事前体操
12:00	昼食、口腔ケア
14:00	レクリエーション、趣味活動、散歩
15:00	喫茶
16:00頃	通い送り
18:00	夕食、口腔ケア
20:00頃	ナイトケア
21:00頃	就寝

(2) 行事及び内容

① 地域交流行事

日付	行事
5月26日	船津小学校運動会
5月28日～6月1日	トライやる(豊富中・神南中)
6月15日	菩提樹祭り
7月15日	瑞岡地区夏祭り
7月24日	賢明女子学院奉仕作業
9月15日	賢明女子学院学園祭
9月22日	神南中運動会
9月29日	船津こども園運動会
10月6日	船津豊富秋祭り
10月27日	ネバーランド祭り
10月30日	船津こども園音楽会
11月11日	農林漁業祭り
11月22日	船津こども園慰問
1月13日	瑞岡地区 とんど
2月3日	ふれあい喫茶に参加
2月9・10日	船津町文化交流会
3月3日	ふれあい喫茶に参加
3月19日	ふれあいサロンに参加

③ 施設外行事(外出等)

日付	行事
4月上旬	観桜ドライブ
4月22日	グリーンエコー笠形
4月26日	加西フラワーセンター
5月24日	足湯(せせらぎの湯)喫茶
5月27日	新緑ドライブ・喫茶
6月10日	ばら園
7月14日	回転すし
7月22日	喫茶店外出(かき氷)
7月27日	外食・ビーチ散歩
8月27日	外食・ブルーベリー狩り
9月8日	ひよこ触れ合い・喫茶
9月11日	ぶどう狩り
10月2日	秋探訪ドライブ
10月15日	ばら園
11月3日	銀杏並木を散策
11月18日	砥峰高原にすすき観覧
12月2日	常盤堂製菓(買物)
12月16日	ヤマサ蒲鉾
12月23日	足湯(せせらぎの湯)
1月3日	初詣
2月26日	観梅ドライブ
3月16日	春探訪ドライブ

② 施設内行事他

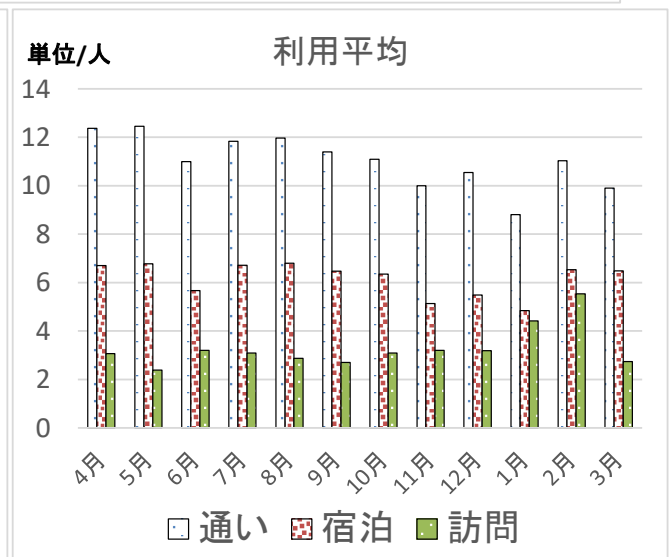
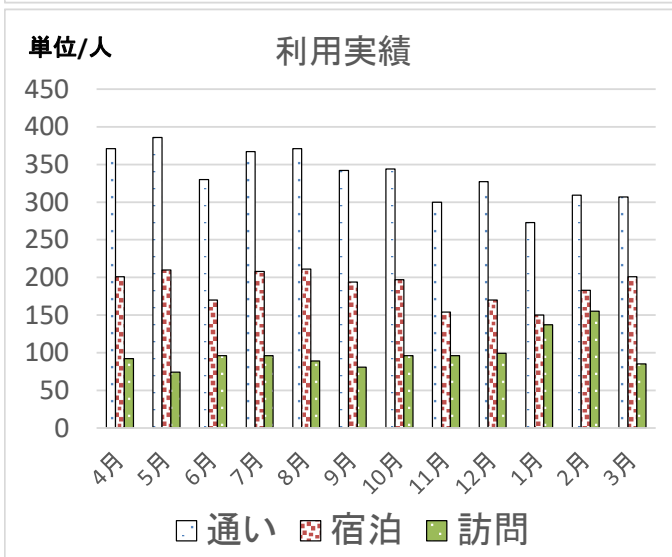
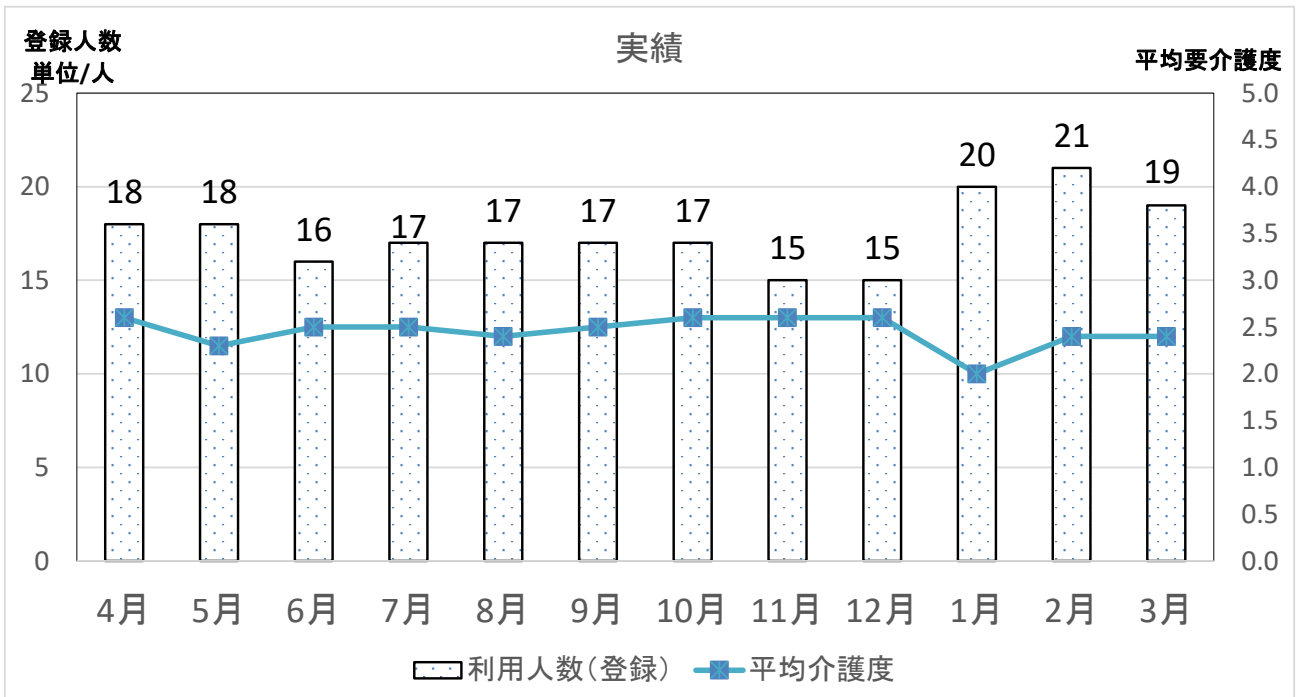
日付	行事等
5月5日	鯉のぼり作り
5月16日	歌・踊りボランティア
7月7日	七夕会
7月13日	すいかわり
7月25日	フィットライフユー
8月11日	冷やしぜんざい
8月20日	そうめん流し
8月22日	花火大会
8月31日	フィットライフユー
9月26日	敬老会
10月31日	ハロウィン
5月5日	鯉のぼり作り
5月16日	歌・踊りボランティア
7月7日	七夕会
7月13日	すいかわり
7月25日	フィットライフユー
8月11日	冷やしぜんざい
8月20日	そうめん流し
8月22日	花火大会
8月31日	フィットライフユー
9月26日	敬老会
10月31日	ハロウィン
11月15日	わんにゃんサークル
12月11日	鍋パーティー
12月12日	フィットライフユー
12月20日	クリスマス会
12月27日	苔玉作り
1月14日	新成人来所
2月3日	節分祭
2月19日	木育キャラバン
3月3日	雛祭り

4、利用状況

平成31年3月31日 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
利用人数(登録)	18	18	16	17	17	17	17	15	15	20	21	19	17.5
通い(実績)	371	386	330	367	371	342	344	300	327	273	309	307	335.6
通い1日平均	12.37	12.45	11	11.84	11.97	11.4	11.1	10	10.55	8.806	11.04	9.903	11.03
宿泊(実績)	201	210	170	208	211	194	197	154	170	150	183	201	187.4
宿泊1日平均	6.70	6.77	5.67	6.71	6.81	6.47	6.35	5.13	5.48	4.84	6.54	6.48	6.16
訪問(実績)	92	74	96	96	89	81	96	96	99	137	155	85	99.67
訪問1日平均	3.07	2.39	3.20	3.10	2.87	2.70	3.10	3.20	3.19	4.42	5.54	2.74	3.29
平均介護度	2.6	2.3	2.5	2.5	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.0	2.4	2.4	2.5

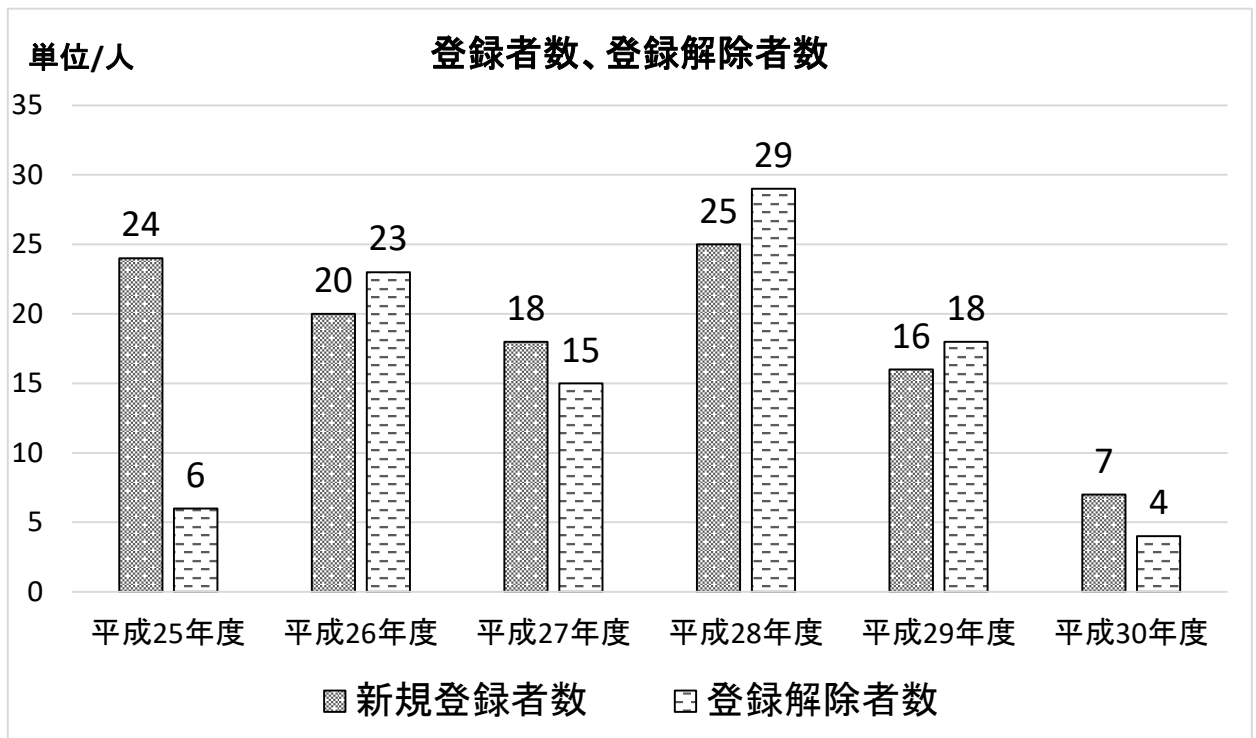
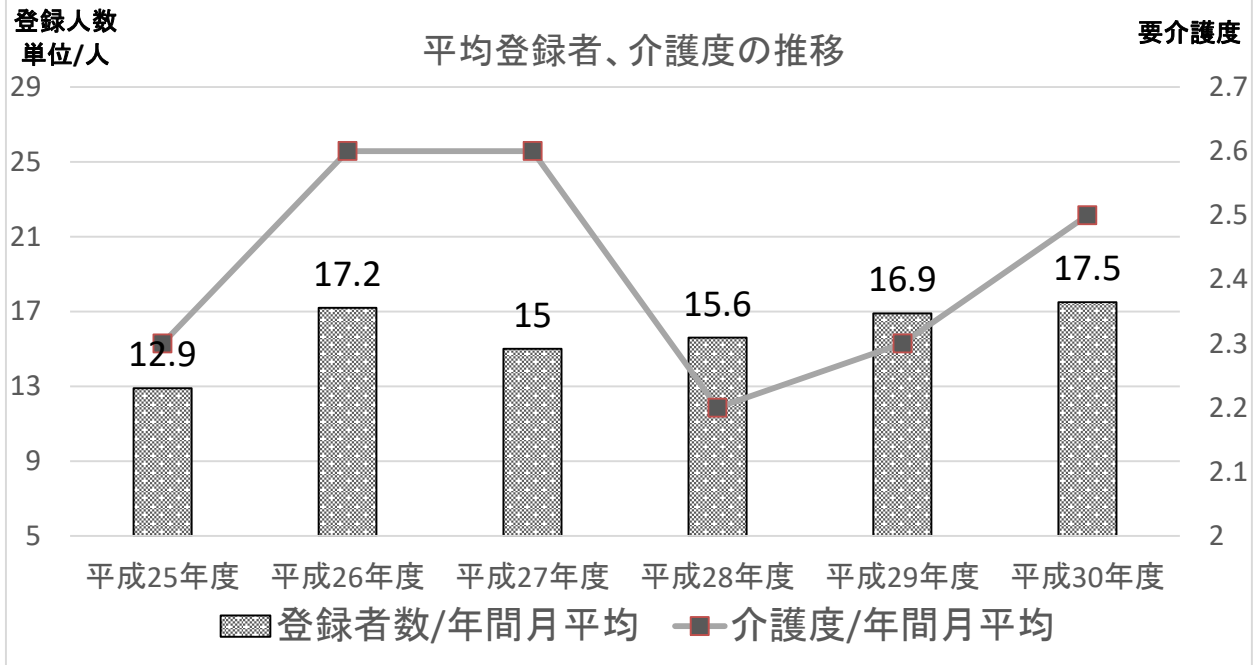
単位/人



利用者登録、介護度の推移

平成25年度～平成30年度

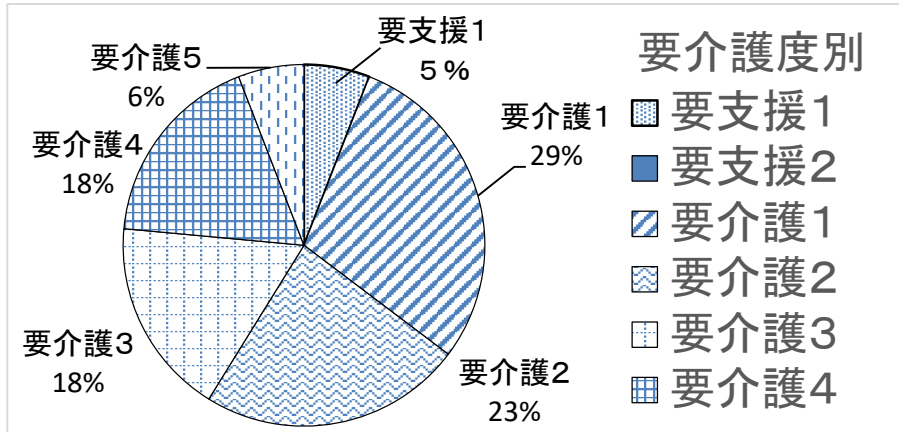
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録者数/年間月平均	12.9	17.2	15	15.6	16.9	17.5
新規登録者数	24	20	18	25	16	7
登録解除者数	6	23	15	29	18	4
介護度/年間月平均	2.3	2.6	2.6	2.2	2.3	2.5



～要介護度別～

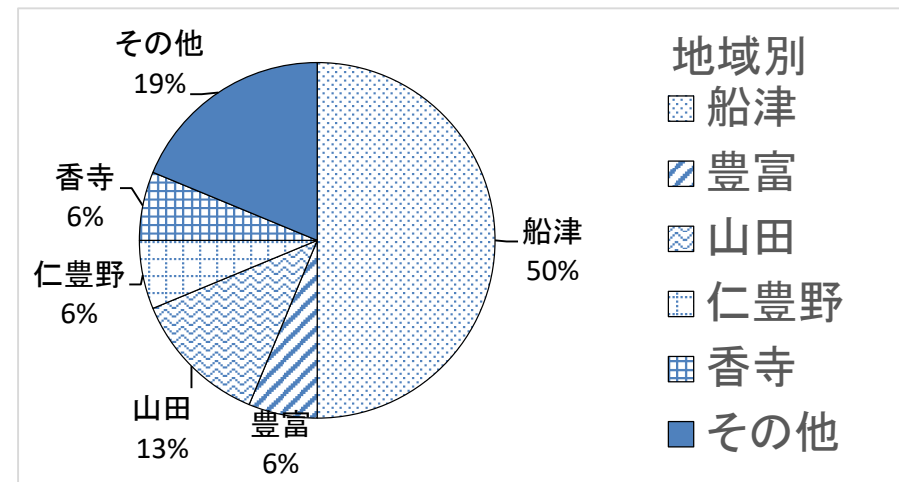
平成31年度3月31日 現在

	人数
要支援1	1
要支援2	0
要介護1	5
要介護2	4
要介護3	3
要介護4	3
要介護5	1
平均介護度	2.1



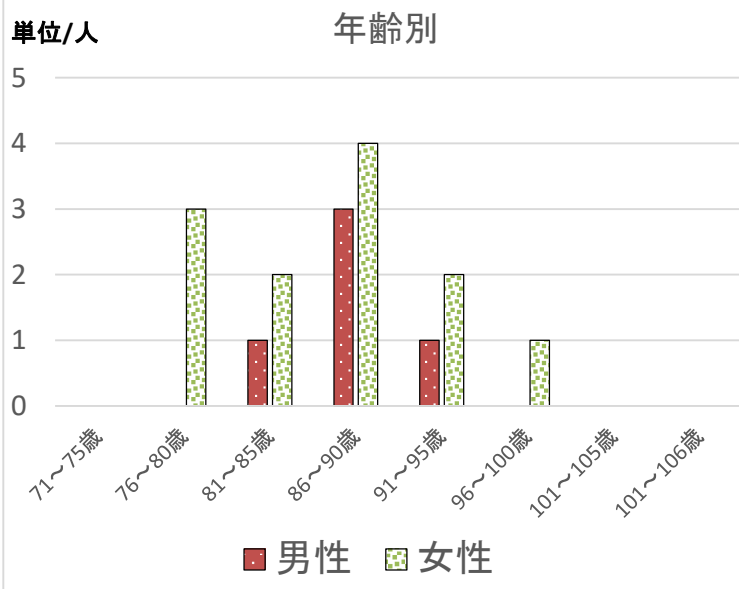
～地域別～

	人数
船津	8
豊富	1
山田	2
仁豊野	1
香寺	1
その他	3
合計	16



～年齢別～

	男性	女性
71～75歳	0	0
76～80歳	0	3
81～85歳	1	2
86～90歳	3	4
91～95歳	1	2
96～100歳	0	1
101～105歳	0	0
101～106歳	0	0
計	8	13
平均年齢	86.5 歳 (男性 86.8歳、女性 86.4歳)	
最高年齢	97 歳	
最低年齢	77 歳	



平均登録者数	目標	結果	達成率	83%
	21名/月	17.5名/月		

5. 実績結果に対する考察

平成29年度に比べて、登録者数は7名増加したが、目標は達成できなかった。下半期に他施設入所と長期入院で2名の減少があるも、同法人の居宅、他事業所からの紹介で、年明けに5名新規登録、1名ショート利用の登録となる。新規相談とショート利用の問い合わせも微増し、ショートステイは全て受け入れたが、飲酒・喫煙の要望やロングショート希望により利用には至らないケースもあった。同一法人内への利用者の移行は平成29年度同様に多くあったが、特養から本入所待ちの待機者を紹介され、2名登録することが出来た。営業面としては、空き情報の発信と顔の見える関係づくりの為、近隣居宅や地域包括へ出向くことはあったが、医療機関への発信が弱く、紹介がほとんどなかった。今後は地域連携室や、訪問を中心とした利用者確保を目的に、ヘルパー事業所にも定期的に空き情報を発信し、登録者確保に努めたい。

6. 平成30年度事業計画に対する結果と考察

目標(1)利用者満足度の向上

利用者満足度アンケートを実施した結果、施設内のことについて『良くわからない』との意見が多かった。楽笑カフェ(認知症カフェ)も始まり、ご家族が定期的に施設に足を運んでくださる機会を作ることが可能となったので、結果については改善の見込みがあると想定できる。外出や施設内の行事については、利用者の希望を伺って計画を立てたことで『楽しい』との意見を多く聞くことが出来たので、今後も継続していく。

目標(2)地域に出向いて利用者の暮らしを支える

他事業所の居宅と、病院からの紹介で、訪問を中心とした利用者を2名獲得することが出来た。買物支援、薬の対応、弁当配達などの多岐にわたる支援を継続して行えた。家の掃除などに出向き、快適な居住空間の確保にも努めることが出来た。

目標(3)多機能性を発揮した柔軟な支援の実践

介護計画のサービス利用に対する変更率が高い傾向にあるので、登録利用者のみならず、キーパーソンの心身の状態についても把握し、プラン内容を柔軟に変更することが出来た。

目標(4)地域の社会資源となる事業所づくり

地域サロンや喫茶に出向くことで、顔の見える関係作りを行った。近隣のお店や利用者がよく立ち寄り場所にもあいさつに出向き、何かあれば声をかけていただくようお願いしている。

目標(5)職員の質の向上・認知症対応力強化

法人内研修へ積極的に参加したり、外部の研修にも職員を派遣し、新しい知識や情報を取得することができた。しかし、フィードバックする機会をもうけることが出来なかったため、今後は学んだ内容と、どのように活用していくのか、事業所会議で発言する機会をもうけたい。利用者の状態に変化が見られれば、適宜ミニカンファレンスを行い、職員の考えや思いを発言して、共有する場を作ることが出来た。

目標(6)利用者が、地域での生活が継続できるための地域包括ケアの実践

適宜、24時間支援表の見直しとエコマップ作りをすることで、職員が情報を共有し、支援することができた。SOS見守りネットワークを活用した方が1名いらっしゃる。